その他

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

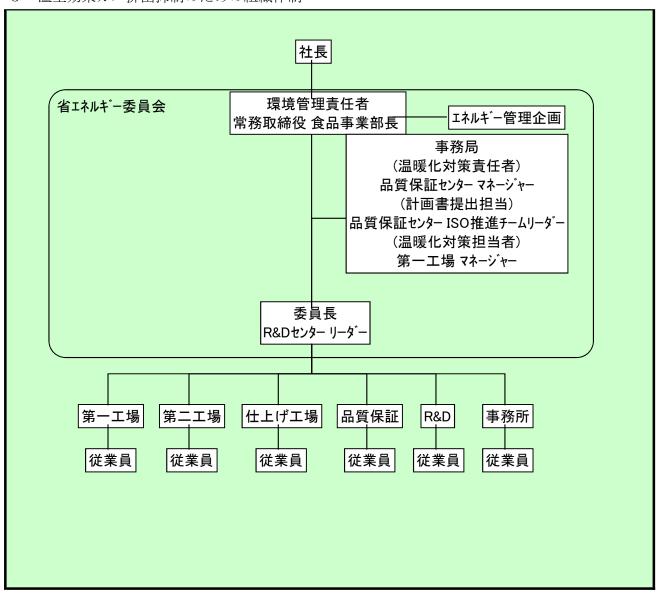
1 事業者等の	概要											
氏名又は名称						アスザ	゛ックフー	- ズ株	式会社			
代表者名	氏	名	久保	、正	直			役職	找名	代表取締役		
主たる事務所 の所在地					-	長野県須坂下	「大字米 「一	持2!	9 3 番地 4 5			
主たる事業	大分	分類		E 製造業								
の分類	中分	分類				0999	他に分類	類され	れない食料品	製造業		
主たる事業 の概要	乾燥	食品の製造、販売										
	V	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者										
制度に該当する		条例	第1:	2条第	;1項	第1号及び条	:例施行共	見則第	- 54条第2項第2	2号に該当する	3事業者	
要件		条何	第1:	2条第	11項	〔第2号に該当	する事業	美者				
		上記	 	ト (任	:意提	是出)の事業	者 ——					
原油換算エネル ギー使用量		4677		k1		その他ガス 非出量合計	0	t- CO ₂	自動車の台数	8	台	
2 計画期間及で	び報	告対	象年	度								
計画期間	26		年	度	~	28	年度	報行	告対象年度	28	年度	
3 計画書(報行	告書`) の	公表	方法(等							
ホームペー	-ジ											
印刷物の閲	順	品質保証センターISO推進チームに問い合わせの上閲覧可能 問い合わせ可能時間:月〜金 8:00〜17:00 TFL: 026-245-2531 FAX: 026-246-6215										

アスザックフーズ(株)品質保証センターISO推進チーム

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

```
ISO14001の環境目的・目標に基づいて削減計画を推進。
```

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

日 保 平 及 日保部山里	6 07 I	エイル	キー起源一酸化灰素	系の排出抑制に	-徐る日	保寺の状況		
日標年度 目標排出量 7,822 t-CO ₂ 目標原単位 t-CO ₂ / 素与度の合計 求めた目標制 表のた目標制 表のた目標制 まのた目標制 本事業の内容に単一の原単位を大きな説明 ※事業の内容に単一の原単位を大きな説明 ※事業の内容に単一の原単位を大きな説明 ※事業の内容に単一の原単位を大きな説明 ※事業の内容に単一の原単位を大きな説明 本のた目標制 ※事業の内容に単一の原単位を大きな説明 本のた目標制 ※事業の内容に単一の原単位を大きな説明を認定に設定される場合。 第316 t-CO ₂ 原単位 t-CO ₂ / 寄与度の合計 水めた目標制 まめた目標制 まめた目標制 まめた目標制 まのた目標制 まのた日標制 まのた日標制 まのとまため、上さいできた。 第9度の合計 単位 第9度の合計 水めた目標制 第9度の合計 水のと目標制 第9度の合計 水のと目標制 まのとまため、上さいできた。 第9度の合計 水のと目標制 第9度の合計 水のと日標制 第9度の合計 水のと目標制 第9度の合計 水のと上でのより、まために対するとしたのとができた。 第9度の合計 水のと上でのより、まために対するとしたのとしためのと上でのよ	基 準	年 度	基準排出量	8, 064	t-CO ₂	寄与度の合計	単位]
日 標 平 及	25	年度	調整後排出量	6, 400	t-CO ₂	基準原単位	t-CO ₂ /	
28 年度 目標削減率 3.00 % 目標削減率 3.00 % 3.00 % 音標削減率 3.00 % ※本業の内容にから原体的な措置」を実施することで、年平均1%減のがあった。 ※本業の内容にはつか原準位をできない者のみする(以下同じ、 第一年度 排出量 8,316 t-CO2 原単位 財政室 t-CO2/素力を自標制 事力を自標制 を実施することで、年平均1%減のが表かた目標制 素力度の合計 水めた目標制 事力を自標制 事力を主意を表します。 事力を表します。 事力を主意を表します。 事力を主意を表します。 事力を主意を表します。 事力を表します。 事力を表します。 事力を表します。 事力を表します。 事力を表します。 事力を表します。 <td>目標</td> <td>年 度</td> <td>目標排出量</td> <td>7, 822</td> <td>t-CO₂</td> <td>目標原単位</td> <td>t-CO₂/</td> <td>寄与度の合計から 求めた目標削減率**</td>	目標	年 度	目標排出量	7, 822	t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた目標削減率**
##日標を達成する。 日標設定に関する説明 第一年度 ##日量 8,316 t-CO ₂ 寄与度の合計 26 年度 削減率 (3.13) % 削減率 (3.13) % 削減率 (3.13) % 削減率 (4.15) 素与度の合計 (4.15) 素がた目標制 第二年度 ##日量 第二年度 ##日量 8,721 t-CO ₂ 寄与度の合計 第三年度 ##日量 8,683 t-CO ₂ 原単位 1-CO ₂ 家与度の合計 第一次 (8.15) % 削減率 (8.15) % 削減率 (8.15) % 削減率 ##日量等の増減理由 ##日量等の増減理由 ##日量等の増減理由 ##日量等の増減理由 ##日量 ##日量 9,537 t-CO ₂ 寄与度の合計 ##日量は増加したものの生産数量 ##日量等の増減理由 ##日量 ##日産 ##日量 ##日面 ##日量 ##日産 ##日間 ##	28	年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3. 00 %	3
第一年度					的な措	詩置」を実施する 、	ことで、年平均1%減の	※事業の内容により 単一の原単位を設定 できない者のみ記載 する(以下同じ)。
調整後排出量	笠	.左帝	排出量	8, 316	t-CO ₂	寄与度の合計	単位	
	— 弗一 	干皮	調整後排出量	8, 316	t-CO ₂	原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた目標削減率**
#出量等の 増減理由	26	年度					'	15. 3
第二年度 調整後排出量 8,683 t-CO ₂ 原単位 t-CO ₂ / 寄与度の合計 水めた目標削が (8.15) % 削減率 %								
調整後排出量	一	'	排出量	8, 721	t-CO ₂	寄与度の合計	単位	
#出量等の 増減理由	N1—	- 1 /X	調整後排出量	8, 683	t-CO ₂	原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた目標削減率**
#出量等の 増減理由 #出量 9,537 t-CO ₂ 寄与度の合計 単位 第三年度 期整後排出量 9,480 t-CO ₂ 原単位 t-CO ₂ / 寄与度の合計 水めた目標削が 28 年度 削減率 (18.27) % 削減率 % で年よりも新型冷凍機の稼働が増え二酸化炭素排出量は増加したものの生産数量も増加したため、エネルギー消費原単位は削減することができた。	27	年度					·	2.4
第三年度 調整後排出量 9,480 t-CO ₂ 原単位 t-CO ₂ / 寄与度の合計 求めた目標削2 (18.27) % 削減率 %								
28 年度 削減率 (18.27) % 削減率 % 目標の達成状況及び排出量 10	第二	年度	排出量	9, 537	t-CO ₂	寄与度の合計	単位	
昨年よりも新型冷凍機の稼働が増え二酸化炭素排出量は増加したものの生産数量 も増加したため、エネルギー消費原単位は削減することができた。 況及び排出量	717—	-1/2	調整後排出量	9, 480	t-CO ₂	原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた目標削減率**
目標の達成状 況及び排出量	28	年度						1. 1
	況及び	排出量						

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基 準	年 度	基準排出量	0	t-CO ₂		単位	
25	年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位	t-CO ₂ /	
目 標	年 度	目標排出量		t-CO ₂	 目標原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた目標削減率 [※]
	年度	目標削減率		%	目標削減率	%	水のた日保的似乎
	設定に る説明						※事業の内容により 単一の原単位を設定 できない者のみ記載 する(以下同じ)。
⋍ —	·年度	排出量	0	t-CO ₂		単位	
/1	十反	調整後排出量		t-CO ₂	原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた目標削減率**
26	年度	削減率		%	削減率	%	
	量等の は理由						
第一	.年度	排出量	0	t-CO ₂		単位	
71	. 1 /2	調整後排出量		t-CO ₂	原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた目標削減率**
27	年度	削減率		%	削減率	%	
	量等の 注理由						
- 第二	年度	排出量	0	t-CO ₂		単位	
第二	.十/文	調整後排出量		t-CO ₂	原単位	t-CO ₂ /	寄与度の合計から 求めた目標削減率**
28	年度	削減率		%	削減率	%	
況及び	達成状 排出量 咸理由						

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

6003	口利干		化灰系の排出抑制に	- NV の I	コ (水 子 ^) / () [
基 準 25	年 度 年度	基準排出量	47	t-CO ₂			
目標	年度年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
目標記	設定に 3説明						
第 一 26	年 年 年 度	排出量	47	t-CO ₂	削減率	0	%
排出量増減							
第 二 27	年 年 年 度	排出量	47	t-CO ₂	削減率	0	%
排出量増減							
第 三 28	年 年 年 度	排出量	40	t-CO ₂	削減率	14. 89	%
目標の 況及び の増減	達成状排出量						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
Ι, Π	1	燃料使用量等の 定期的な把握						
1 , п	2	エコドライブの 励行						
III 、 IV		次世代自動車の 導入						

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

				計画		実績
番号	区分	対策内容	美施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	350699 変圧器の負荷統合及び更新	28	9		
2	エネ起	360799 クーリングタワーを適正容量へ更新	28	116		
3	エネ起	その他 FD乾燥機用冷凍機の冷媒更新	28	29		
4	エネ起	その他 FD乾燥機増設による負荷移行	26	177	26	177
5	エネ起	360799 冷却水ポンプのインバータ制御	28	103		
6	エネ起	380752 LEDランプへの更新	28	4	28	1
7	エネ起	330299 遮熱塗料による空調負荷低減	28	14		
8	エネ起	330299 空調機の更新	28	58	28	8
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO_2					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J ークレジット制度によ り創出されたクレジット	tCO_2					
県が認証したクレジット	tCO_2					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	1664		50	38	57
低炭素電力の利用	tCO ₂					

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況

(所、t-CO₂)

工場等の規模	基準年度		第一	第一年度		第二年度		年度
(原油換算エネルギー使用量)	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	7, 168	1	7, 358	1	7, 815	1	8, 422
1,500kl以上 3,000kl未満								
1,500kl未満	3	896	3	1, 008	3	906	3	1, 115
合計	4	8,064	4	8, 366	4	8, 721	4	9, 537

12 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N_2O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

13 次世代車使用台数及び導入計画

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイ ブリッド自動車	2	2	3	3
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼ ル自動車				
その他				
合計	2	2	3	3
自動車総数	8	8	8	8
次世代車導入割合	25	25	37. 5	37. 5

14 中小企業支援

区分	内容
中小企業への 省エネ診断	特にございません。
その他	! 特にございません。

15 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー 通 勤	特にございません。
公共交通機関 の 利 用 促 進	特にございません。
来 客 者 の 交 通 対 策	特にございません。
物流の合理化	特にございません。

16 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年	
1	IS014001	2003年	
2			
3			

17 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	省資源、リサイクルに関する取り組み(廃棄物削減)
第一年度実績	省資源、リサイクルに関する取り組み(廃棄物削減)
第二年度実績	省資源、リサイクルに関する取り組み(廃棄物削減)
第三年度実績	省資源、リサイクルに関する取り組み(廃棄物削減)

18 自由記載欄

	区分	内容	削減量(tCO ₂)
基以	準年度 前の取組み	遮熱塗装実施、LED照明への更新、バイオマスボイラーの導入	203
そ	の 他		